

平成30年度 決算概要の報告



『加東市マスコット 加東伝の助』

兵庫県加東市

加東市 平成30年度決算概要のポイント

□ 平成30年度一般会計の決算額は、歳入が196億7千万円（対前年度比8億5千万円減）、歳出が190億7千万円（対前年度比9億8千万円減）となり、前年度に比べて、歳入・歳出ともに減となった。

また、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は、5億4千万円の黒字となった。

□ 歳入決算額は、土地売却収入の増により、財産収入が前年度よりも増加した。また、平成29年度に加東消防署建設が完了したことによる緊急防災・減災事業債の減少などで、地方債も減少した。

□ 市税の決算額は、70億1千万円となり、前年度と比べて1億6千万円増加した。税目別では、市民税は、法人市民税が企業収益の改善により前年度と比べて増加した。また、固定資産税は、企業の設備投資により償却資産は増となったものの、評価替えによる土地、家屋の減により全体では前年度と比べて減少した。

□ 歳出決算額は、加東みらいこども園の整備に伴い、投資的経費及び物件費（備品購入費）が増加した。また、平成29年度に加東消防署建設が完了したことに伴い北はりま消防組合負担金が減となったことなどにより、補助費等は減少した。

□ 財政力の弾力性を示す経常収支比率は、地方交付税の減等で経常一般財源等は減額となったものの、国庫支出金等の充当財源が増えたことから扶助費、公債費の経常的経費充当一般財源が減額となり、前年度に比べて0.4ポイント改善の87.2%となった。

□ 地方債現在高は、一般会計で年度末残高が226億円となり、前年度に比べて7億3千万円の増となった。全会計の年度末残高は、企業会計等の年度末残高が前年度に比べ10億5千万円減の134億8千万円となったため、前年度に比べて3億2千万円減の360億8千万円となった。合併（平成18年度から）以来、13年間で残高は141億1千万円の減となっている。

地方債の借り入れにあたっては、交付税措置のある有利な地方債の活用を努め、実質的な地方債残高は、全会計で117億2千万円（一般会計42億4千万円、一般会計を除く他会計74億8千万円）となる。

□ 基金現在高は、一般会計で1億4千万円増加し、年度末残高が136億8千万円となった。その他の特別会計等を含めた基金残高は、144億5千万円となり、合併（平成18年度から）以来、13年間で93億8千万円積み立てた。

□ 平成30年度の主な事業として、未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実を図るため、加東みらいこども園の整備（9億1千万円、別資料「平成30年度主要施策の成果」27頁）や、教育無償化保育料軽減事業（6千万円、同29頁、66頁）、東条地域小中一貫校整備事業（2億円、同64頁）、小・中学校教育振興事務事業（タブレットPC導入）（1億円、同65頁、66頁）などに取り組んだ。また、災害時に備えた公共広場整備事業（8千万円、同4頁）、県営ため池等整備事業（2千万円、同46頁）、滝野図書館空調設備改修事業（1億1千万円、同70頁）のほか、滝野梶原線道路改良事業（9千万円、同55頁）、市営住宅小元団地建替事業（2億7千万円、同58頁）などを実施した。

新規事業では、企業立地促進事業（企業立地奨励金）（7千万円、同49頁）や宿泊施設誘致事業（8百万円、同49頁）など、産業の振興とまちのにぎわい創出に資する事業をはじめ、都市計画マスタープラン改訂事業（6百万円、同56頁）、小学校外国語教育推進事業（2百万円、同63頁）などを実施した。

また、歴史民俗資料館管理運営事業（文化財展）（8百万円、同68頁）では、東京都多摩市の多摩美術大学美術館において「特別展 神仏人 心願の地」を開催し、本市の文化財の特徴や魅力のPRを行った。

□ 財政健全化判断比率の状況は、一般会計、また、それぞれの特別会計、企業会計を連結した場合の実質収支が黒字であるため、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」ともに算定されない。

□ 財政健全化判断比率の「実質公債費比率」は、標準財政規模の減及び公債費から控除される基準財政需要額等が減少したことから、単年度では上昇したものの、平成28年度～平成30年度の3か年平均では、前年度と同率の4.7%となった。

□ 同じく財政健全化判断比率の「将来負担比率」は、将来負担額より充当可能財源等が多いため算定されない。参考値は、地方債現在高が増えたことなどから、前年度から1.3ポイント上昇の△84.5%となった。

平成30年度 決算の概要

1 会計別決算の状況

(単位：円)

| 会 計 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引額 | うち 基金繰入額 |
|------------------|----------------|----------------|---------------|--------------|
| 一 般 会 計 | 19,671,876,169 | 19,067,727,541 | 604,148,628 | 270,000,000 |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険特別会計 | 3,902,287,914 | 3,861,035,314 | 41,252,600 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 487,289,807 | 472,783,357 | 14,506,450 |
| | 介護保険保険事業特別会計 | 3,408,140,533 | 3,312,158,667 | 95,981,866 |
| | 小 計 | 7,797,718,254 | 7,645,977,338 | 151,740,916 |
| 企 業 会 計 | 病院事業会計 | 2,646,711,877 | 2,522,125,180 | 124,586,697 |
| | 水道事業会計 | 1,439,642,105 | 1,192,500,990 | 247,141,115 |
| | 下水道事業会計 | 1,795,062,657 | 1,850,021,954 | △ 54,959,297 |
| | 小 計 | 5,881,416,639 | 5,564,648,124 | 316,768,515 |
| 合 計 | 33,351,011,062 | 32,278,353,003 | 1,072,658,059 | 339,000,000 |

※企業会計は、収益的収入及び支出額（消費税抜き）を計上しています。

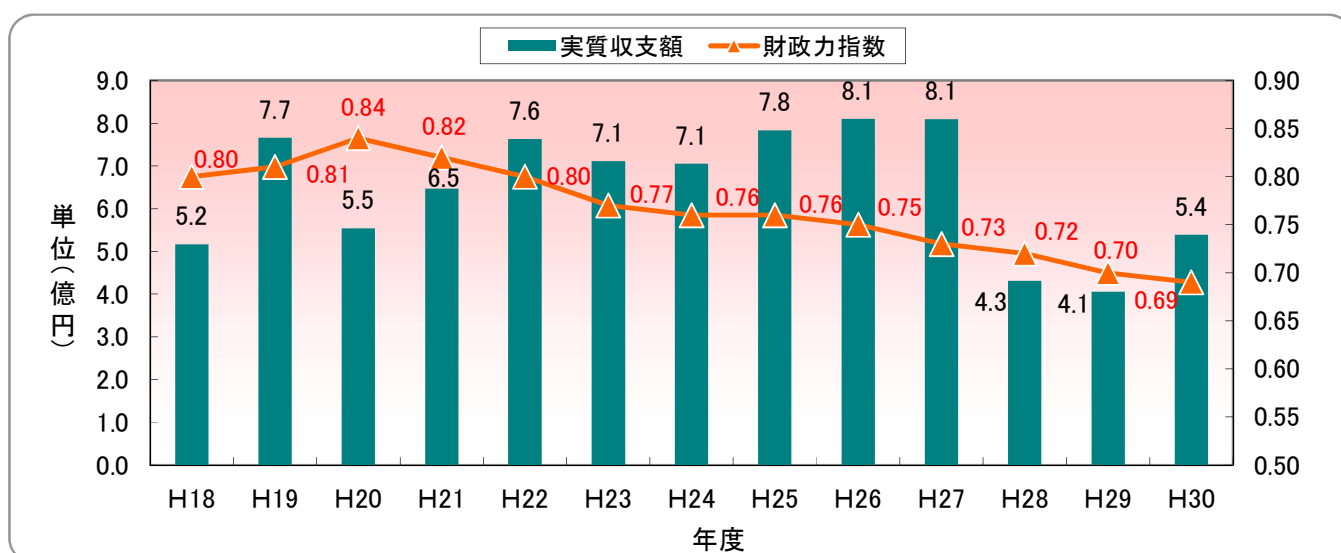
【説明】

・一般会計について、歳入歳出差引額604,148,628円のうち、65,778,000円を繰越事業に伴う一般財源等所要額に、270,000,000円を財政調整基金に繰り入れることから、純繰越額は、268,370,628円となります。

2 一般会計収支の推移状況

(単位：億円)

| 区 分 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 歳入総額 | 164.7 | 184.3 | 166.4 | 181.5 | 186.1 | 181.9 | 181.5 | 203.0 | 185.0 | 190.2 | 198.9 | 205.2 | 196.7 |
| 歳出総額 | 157.6 | 176.5 | 160.3 | 174.2 | 177.8 | 174.1 | 174.3 | 194.8 | 176.8 | 181.4 | 194.5 | 200.5 | 190.7 |
| 歳入歳出差引 | 7.1 | 7.8 | 6.2 | 7.3 | 8.2 | 7.8 | 7.2 | 8.2 | 8.3 | 8.8 | 4.4 | 4.7 | 6.0 |
| 翌年度繰越財源 | 1.9 | 0.1 | 0.6 | 0.8 | 0.6 | 0.7 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | 0.8 | 0.1 | 0.6 | 0.6 |
| 実質収支額 | 5.2 | 7.7 | 5.5 | 6.5 | 7.6 | 7.1 | 7.1 | 7.8 | 8.1 | 8.1 | 4.3 | 4.1 | 5.4 |
| 財政力指数(%) | 0.80 | 0.81 | 0.84 | 0.82 | 0.80 | 0.77 | 0.76 | 0.76 | 0.75 | 0.73 | 0.72 | 0.70 | 0.69 |



3 平成30年度 一般会計の歳入の状況

単位：千円

| 区 分 | | 年 度 | 平成30年度 | 構成比 | 平成29年度 | 増減 | 主な増減理由 |
|---------------|---|-----|------------|--------|------------|-----------|--|
| 市 税 | 市民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税など | | 7,010,734 | 35.6% | 6,851,153 | 159,581 | 市民税（個人・法人）186百万円の増、固定資産税（土地・家屋）27百万円の減 |
| 地方交付税 | 国税の一定割合から、市の財政規模などに応じて国から交付される。 | | 3,814,883 | 19.4% | 3,973,307 | △ 158,424 | 普通交付税175百万円の減、特別交付税17百万円の増 |
| 国庫支出金 | 特定の事業を行うことで、事業費の一部として国から支出される。 | | 1,926,681 | 9.8% | 1,970,049 | △ 43,368 | 臨時福祉給付金、地域子供の未来応援交付金などの減 |
| 県支出金 | 特定の事業を行うことで、事業費の一部として県から支出される。 | | 1,361,824 | 6.9% | 1,441,895 | △ 80,071 | 農村地域防災減災事業補助金、保育所等整備事業補助金などの減 |
| 使用料 | 市の施設の利用料や公営住宅の家賃など | | 215,714 | 1.1% | 220,142 | △ 4,428 | 公立こども園等保育料などの減 |
| 手数料 | 戸籍や住民票の証明手数料など | | 53,405 | 0.3% | 52,982 | 423 | |
| 財産収入 | 市が所有している土地などの借地料や基金などの運用によって生じる収入 | | 87,847 | 0.4% | 44,429 | 43,418 | 土地売却収入の増 |
| 諸収入 | 広告料やその他の収入 | | 477,805 | 2.4% | 522,874 | △ 45,069 | 小野加東広域事務組合（農業共済）負担金返還金の減 |
| 繰入金 | 市の基金からの繰入金 | | 408,508 | 2.1% | 399,770 | 8,738 | |
| 地方債 | 市が事業を行うために必要な借入収入 | | 2,517,700 | 12.8% | 3,211,700 | △ 694,000 | 加東消防署建設事業に係る緊急防災・減災事業債などの減 |
| うち 臨時財政対策債 | 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる特例として発行される地方債で、各自治体の基準財政需要額を基本に発行可能額が算定される。 | | 756,000 | 3.8% | 824,000 | △ 68,000 | |
| その他 | 地方譲与税、地方特例交付金、分担金及び負担金、繰越金など | | 1,796,775 | 9.1% | 1,828,420 | △ 31,645 | |
| 計 | | | 19,671,876 | 100.0% | 20,516,721 | △ 844,845 | |

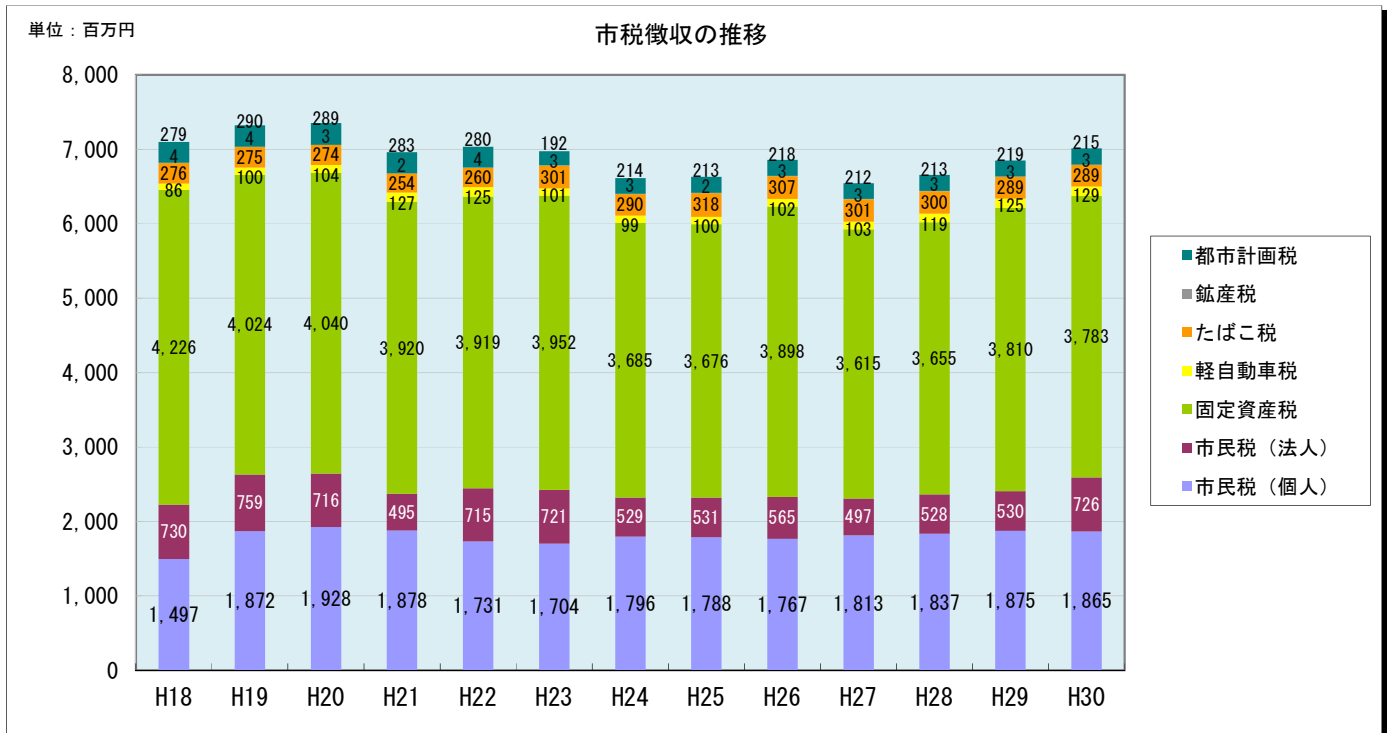
注) 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

4 市税の徴収実績

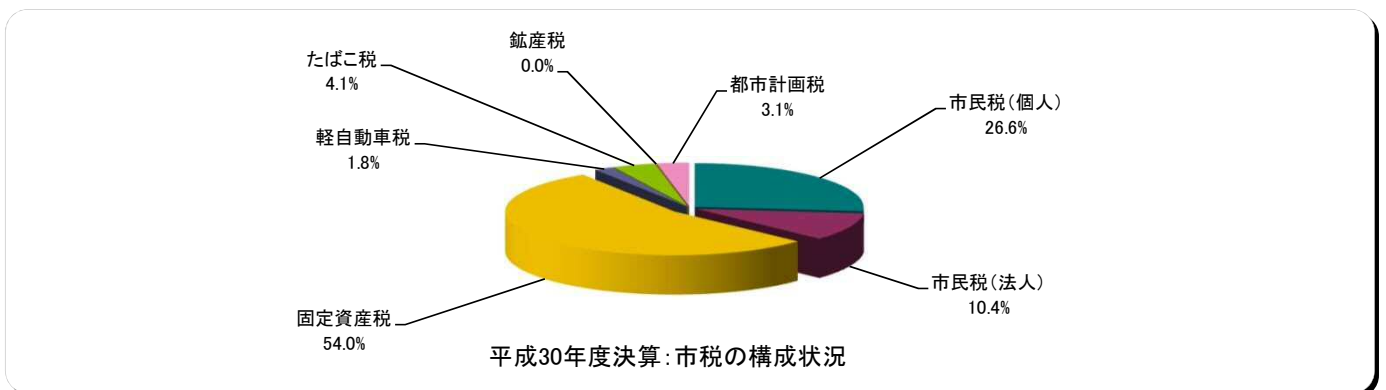
単位：百万円

| 区分 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 市民税（個人） | 1,497 | 1,872 | 1,928 | 1,878 | 1,731 | 1,704 | 1,796 | 1,788 | 1,767 | 1,813 | 1,837 | 1,875 | 1,865 |
| 市民税（法人） | 730 | 759 | 716 | 495 | 715 | 721 | 529 | 531 | 565 | 497 | 528 | 530 | 726 |
| 固定資産税 | 4,226 | 4,024 | 4,040 | 3,920 | 3,919 | 3,952 | 3,685 | 3,676 | 3,898 | 3,615 | 3,655 | 3,810 | 3,783 |
| 軽自動車税 | 86 | 100 | 104 | 127 | 125 | 101 | 99 | 100 | 102 | 103 | 119 | 125 | 129 |
| たばこ税 | 276 | 275 | 274 | 254 | 260 | 301 | 290 | 318 | 307 | 301 | 300 | 289 | 289 |
| 鉱産税 | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 都市計画税 | 279 | 290 | 289 | 283 | 280 | 192 | 214 | 213 | 218 | 212 | 213 | 219 | 215 |
| 市税合計 | 7,099 | 7,324 | 7,353 | 6,960 | 7,033 | 6,976 | 6,616 | 6,629 | 6,859 | 6,543 | 6,655 | 6,851 | 7,011 |
| 前年度との比較 | 218 | 225 | 29 | △ 393 | 74 | △ 58 | △ 360 | 13 | 230 | △ 316 | 112 | 196 | 160 |

注) 上記の金額は、百万円未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。



平成30年度の市税は、市税全体としては、対前年度比で160百万円の増となりました。税目別では、個人市民税が対前年度比で10百万円の減、法人市民税が196百万円の増となり、市民税としては、対前年度比186百万円の増となりました。固定資産税は、償却資産が対前年度比で43百万円の増となりましたが、土地が30百万円、家屋が40百万円の減となり、固定資産税としては、対前年度比で27百万円の減となりました。



注) 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

5 平成30年度 一般会計の歳出の状況

単位：千円

| 区 分 | | 年 度 | 平成30年度 | 構成比 | 平成29年度 | 増減 | 主な増減理由 |
|-------------|-------------------------|-----------------------------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| 目 的 別 | 議 会 費 | 市議会の運営や、議員の報酬などの費用 | 160,979 | 0.8% | 160,961 | 18 | |
| | 総 務 費 | 自治体の組織運営、基金積立金、徴税等の費用 | 2,502,823 | 13.1% | 2,738,626 | △ 235,803 | 公共施設整備基金元金積立金などの減 |
| | 民 生 費 | 各種福祉事業や医療費助成などの費用 | 6,587,677 | 34.5% | 6,128,102 | 459,575 | 加東みらいこども園整備事業などの増 |
| | 衛 生 費 | ごみ処理対策や市民の健康管理などの費用 | 1,433,130 | 7.5% | 1,566,541 | △ 133,411 | 病院事業会計補助金及び出資金などの減 |
| | 労 働 費 | 雇用対策や勤労者支援などの費用 | 46,004 | 0.2% | 45,342 | 662 | |
| | 農林水産業費 | 農林水産業の支援や指導育成などの費用 | 618,650 | 3.2% | 858,300 | △ 239,650 | ため池等整備事業などの減 |
| | 商 工 費 | 商工業の支援・育成や各種祭りの補助などの費用 | 334,447 | 1.8% | 317,505 | 16,942 | 企業立地奨励金などの増 |
| | 土 木 費 | 道路・公園等の整備などの費用 | 2,383,095 | 12.5% | 2,267,241 | 115,854 | 社会資本整備総合交付金事業などの増 |
| | 消 防 費 | 消防・救急活動や消防施設等の整備のための費用 | 844,687 | 4.4% | 2,001,067 | △ 1,156,380 | 北はりま消防組合負担金（加東消防署建設事業分）などの減 |
| | 教 育 費 | 学校の建設や生涯学習活動などの費用 | 2,183,297 | 11.5% | 1,992,994 | 190,303 | 滝野図書館空調設備改修事業などの増 |
| | 災 害 復 旧 費 | 災害によって生じた被害の復旧を行うための費用 | 38,651 | 0.2% | 38,634 | 17 | |
| 公 債 費 | 施設建設のために借り入れた市債の返済などの費用 | 1,934,287 | 10.1% | 1,935,573 | △ 1,286 | | |
| 計 | | 19,067,727 | 100.0% | 20,050,886 | △ 983,159 | | |
| 性 質 別 | 人 件 費 | 市職員の給与、退職金、議員や委員の報酬などの経費 | 2,331,650 | 12.2% | 2,315,590 | 16,060 | 人事院勧告による勤勉手当などの増 |
| | 扶 助 費 | 高齢者・児童・生活困窮者などを援助するための経費 | 3,308,233 | 17.3% | 3,283,045 | 25,188 | 私立保育所運営費などの増 |
| | 公 債 費 | 施設建設などのために借り入れた市債を返済する経費 | 1,934,148 | 10.1% | 1,934,176 | △ 28 | |
| | 物 件 費 | 物品の購入や特定の事業を委託するための経費 | 2,820,678 | 14.8% | 2,691,502 | 129,176 | 加東みらいこども園備品購入費などの増 |
| | 維持補修費 | 市が管理する施設を維持するための経費 | 172,882 | 0.9% | 175,087 | △ 2,205 | |
| | 補 助 費 等 | 各種団体への補助や火災保険料などの経費 | 3,398,122 | 17.8% | 4,618,461 | △ 1,220,339 | 北はりま消防組合負担金（加東消防署建設事業分）などの減 |
| | 投資的経費 | 支出効果が施設等のストックとして後年度に及ぶ性質の経費 | 2,947,840 | 15.5% | 2,491,528 | 456,312 | 加東みらいこども園整備事業などの増 |
| | そ の 他 | 積立金、出資金、繰出金など | 2,154,174 | 11.3% | 2,541,497 | △ 387,323 | 公共施設整備基金元金積立金などの減 |
| 計 | | 19,067,727 | 100.0% | 20,050,886 | △ 983,159 | | |

注) 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

6 平成30年度 主な財政指標等の状況

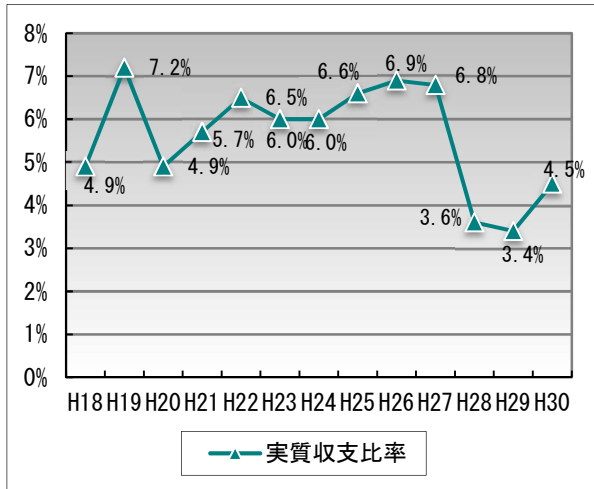
単位：千円

| 主 な 財 政 指 標 等 | | 平成30年度 | 平成29年度 | 増減 |
|---------------|---|------------|------------|-----------|
| 形式収支 | 歳入総額から歳出総額を差し引いた額で、形式的な収支。 | 604,149 | 465,835 | 138,314 |
| 繰り越すべき財源 | 翌年度に繰り越した事業等の財源として、歳出予算から繰り越した金額。 | 65,778 | 59,937 | 5,841 |
| 実質収支 | 歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度繰り越し財源を差し引いた額で、実質的な収支。 | 538,371 | 405,898 | 132,473 |
| 単年度収支 | 当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額で、黒字であれば剰余が生じているか、前年度までの赤字が解消していることになる。 | 132,473 | △ 25,134 | 157,607 |
| 実質単年度収支 | 単年度収支に実質的な黒字要素である積立金及び繰上償還金を加え、実質的な赤字要素である基金取り崩し額を差し引いた額。 | △ 98,767 | △ 308,831 | 210,064 |
| 実質収支比率（％） | 標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される。実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表される。 | 4.5 | 3.4 | 1.1 |
| 経常収支比率（％） | 財政構造の弾力性を表す指標で、人件費、扶助費、公債費などのように毎年経常的に支出される経費に、地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源がどの程度使われているかを示したもの。 | 87.2 | 87.6 | △ 0.4 |
| 減税補填債等除く | 交付税措置不足分を補う臨時財政対策債を除いた比率 | 93.0 | 93.9 | △ 0.9 |
| 地方債現在高 | 当該地方公共団体が発行した地方債の年度末残高。 | 22,600,988 | 21,873,499 | 727,489 |
| 基金現在高 | 当該地方公共団体が積み立てた基金の年度末残高。 | 13,681,628 | 13,543,617 | 138,011 |
| 財政調整基金 | 地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために設けられた基金。 | 6,103,274 | 6,124,514 | △ 21,240 |
| 減債基金 | 地方債の償還及びその信用の保持のために設けられる基金で、後年度の地方債元利償還金に充当するために積み立てられる。 | 763,718 | 762,298 | 1,420 |
| その他特目基金 | 財政調整基金、減債基金以外の基金。 | 6,814,636 | 6,656,805 | 157,831 |
| 財政力指数 | 当該地方公共団体の財政基盤の強さを表す指数で、この指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことになる。 | 0.69 | 0.70 | △ 0.01 |
| 標準財政規模 | 当該地方公共団体の標準的な状態での一般財源の規模を表すもので、地方税、普通交付税などの計。 | 11,838,704 | 12,087,437 | △ 248,733 |
| 実質公債費比率 | 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率を表すもので、公債費の水準を測る指標。 | 4.7 | 4.7 | 0.0 |
| 将来負担比率 | 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。 | —（△84.5） | —（△85.8） | —（1.3） |

7 主な財政指標等の推移状況

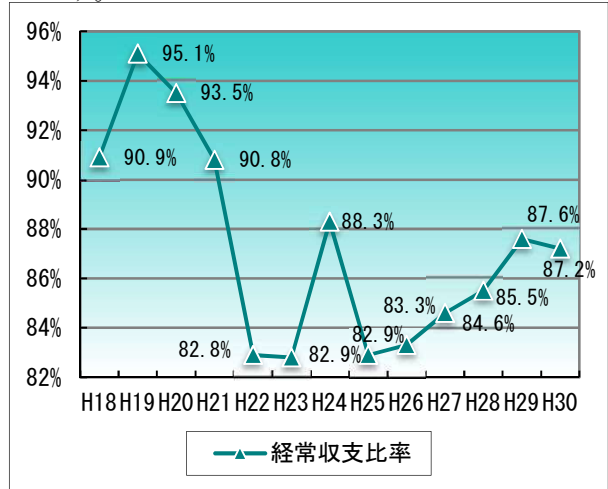
実質収支比率

標準財政規模に対する実質収支額の割合で示され、実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表されます。



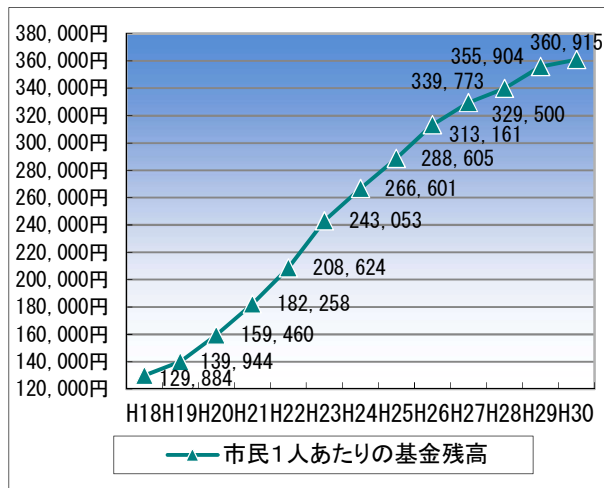
経常収支比率

自由に使えるお金のうち、人件費や生活保護費、借金返済などの避けられない支出にどれだけ充てられているかを示します。値が低ければ、懐に余裕があり、独自の政策のために使えるお金の割合が増えます。



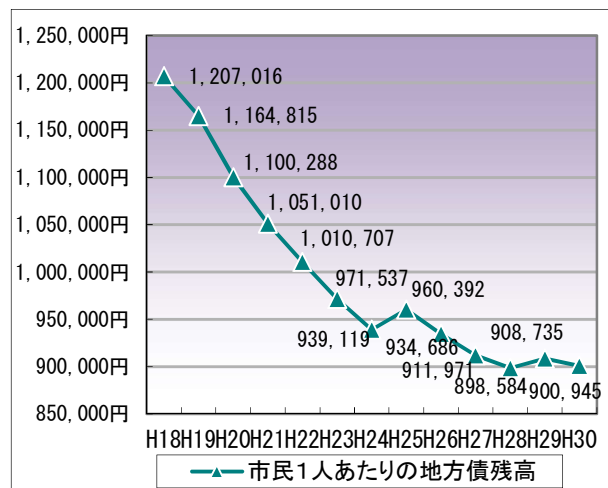
市民1人あたりの基金残高

各年度末人口で計算 (H30年度末: 40,050人)



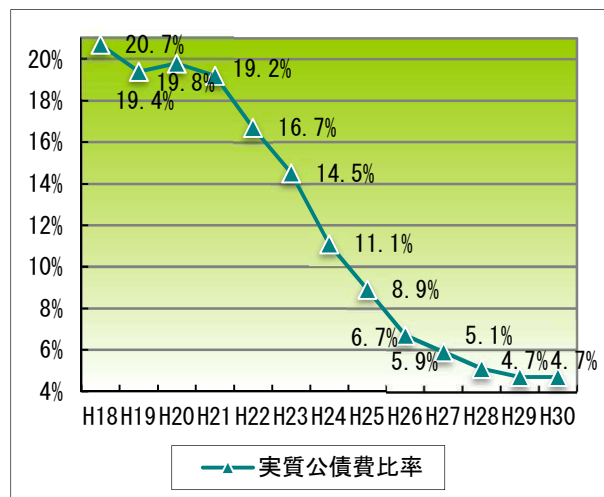
市民1人あたりの地方債残高

各年度末人口で計算 (H30年度末: 40,050人)



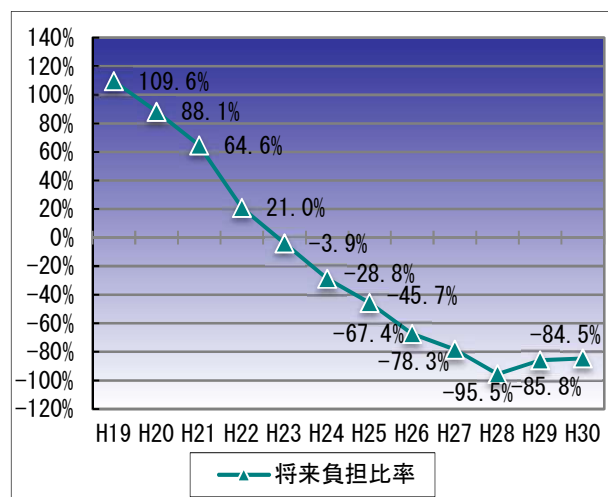
実質公債費比率

自治体の収入に対する負債返済の割合を示します。通常、3年間の平均値を使用。18%以上になると、新たな借金をするために国や県の許可が必要。25%以上になると借金を制限されます。



将来負担比率

公社や出資法人も含め、自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。350%以上になると早期健全化団体となります。



8 平成30年度末会計別地方債残高の状況

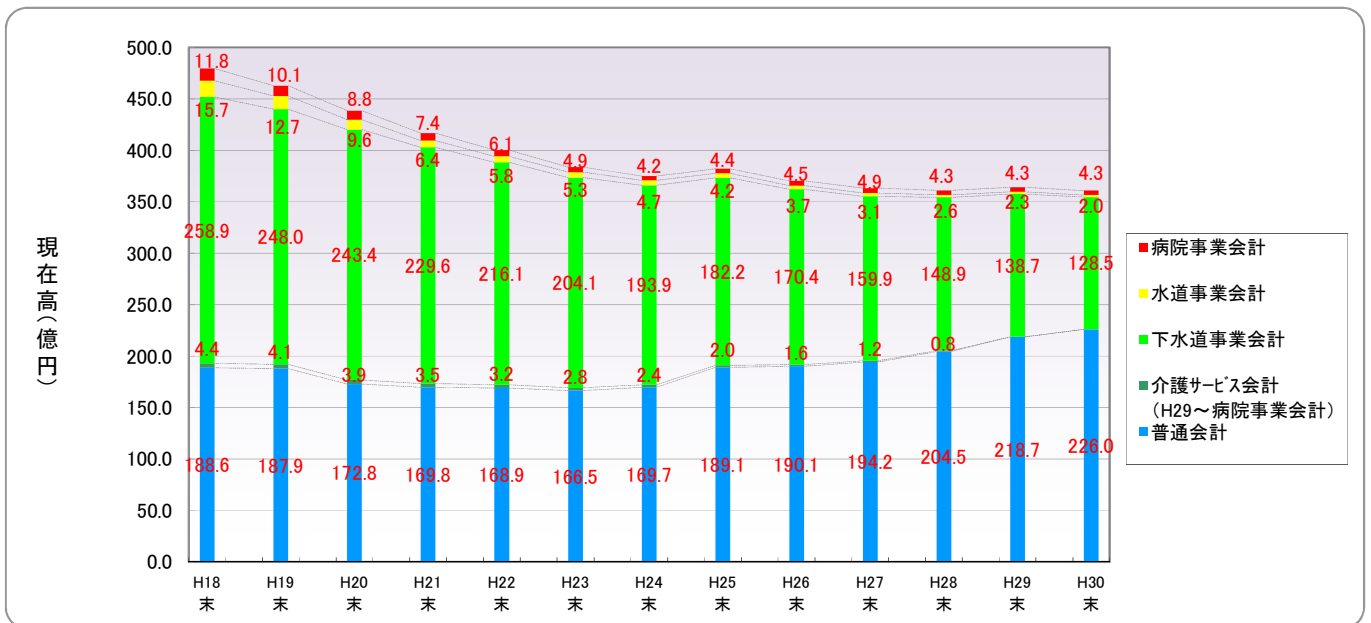
単位：千円

| 区 分 | H29末 現在高 | H30償還額 | | | H30 借入額 | H30末 現在高 | |
|------------|---------------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|
| | | 元金 | 利子 | 合計 | | | |
| 普通会計（一般会計） | 21,873,499 | 1,790,211 | 143,871 | 1,934,082 | 2,517,700 | 22,600,988 | |
| 内 訳 | 普通会計（臨時財政 対策債除く） | 12,707,086 | 1,202,485 | 96,006 | 1,298,491 | 1,761,700 | 13,266,301 |
| | 臨時財政対策債 | 9,166,413 | 587,726 | 47,865 | 635,591 | 756,000 | 9,334,687 |
| 企 業 会 計 | 下水道 | 13,873,147 | 1,283,534 | 275,629 | 1,559,163 | 261,900 | 12,851,513 |
| | 水道 | 230,790 | 28,974 | 6,627 | 35,601 | | 201,816 |
| | 病院 | 423,777 | 96,338 | 6,700 | 103,038 | 101,100 | 428,539 |
| 加東市合計 | 36,401,213 | 3,199,057 | 432,827 | 3,631,884 | 2,880,700 | 36,082,856 | |

9 加東市会計別地方債現在高の推移

単位：億円

| 会計名 | 年度 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | H18末 | H19末 | H20末 | H21末 | H22末 | H23末 | H24末 | H25末 | H26末 | H27末 | H28末 | H29末 | H30末 | |
| 普通 会 計 | 一般会計 | 172.5 | 174.2 | 172.8 | 169.8 | 168.9 | 166.5 | 169.7 | 189.1 | 190.1 | 194.2 | 204.5 | 218.7 | 226.0 |
| | 診療所会計 | 4.8 | 4.6 | | | | | | | | | | | |
| | コミュニティプラント会計 | 11.3 | 9.1 | | | | | | | | | | | |
| | 小計 | 188.6 | 187.9 | 172.8 | 169.8 | 168.9 | 166.5 | 169.7 | 189.1 | 190.1 | 194.2 | 204.5 | 218.7 | 226.0 |
| 介護サービス会計 (H29～病院事業会計) | 4.4 | 4.1 | 3.9 | 3.5 | 3.2 | 2.8 | 2.4 | 2.0 | 1.6 | 1.2 | 0.8 | | | |
| 企 業 会 計 | 下水道事業会計 | 258.9 | 248.0 | 243.4 | 229.6 | 216.1 | 204.1 | 193.9 | 182.2 | 170.4 | 159.9 | 148.9 | 138.7 | 128.5 |
| | 水道事業会計 | 15.7 | 12.7 | 9.6 | 6.4 | 5.8 | 5.3 | 4.7 | 4.2 | 3.7 | 3.1 | 2.6 | 2.3 | 2.0 |
| | 病院事業会計 | 11.8 | 10.1 | 8.8 | 7.4 | 6.1 | 4.9 | 4.2 | 4.4 | 4.5 | 4.9 | 4.3 | 4.3 | 4.3 |
| | 小計 | 286.4 | 270.8 | 261.8 | 243.4 | 228.0 | 214.3 | 202.8 | 190.8 | 178.6 | 167.9 | 155.8 | 145.3 | 134.8 |
| 加東市合計 | 479.4 | 462.8 | 438.5 | 416.7 | 400.1 | 383.6 | 374.9 | 381.9 | 370.3 | 363.3 | 361.1 | 364.0 | 360.8 | |
| 前年度との増減比較 | △ 22.5 | △ 16.6 | △ 24.3 | △ 21.8 | △ 16.6 | △ 16.5 | △ 8.7 | 7.0 | △ 11.6 | △ 7.0 | △ 2.2 | 2.9 | △ 3.2 | |
| 前年度からの増減率 | △ 4.49% | △ 3.44% | △ 5.27% | △ 4.95% | △ 4.03% | △ 4.10% | △ 2.26% | 1.85% | △ 3.04% | △ 1.87% | △ 0.61% | 0.79% | △ 0.87% | |
| 合併時からの地方債増減額 | △ 22.5 | △ 39.1 | △ 63.4 | △ 85.2 | △ 101.8 | △ 118.3 | △ 127.0 | △ 120.0 | △ 131.6 | △ 138.6 | △ 140.8 | △ 137.9 | △ 141.1 | |



10 平成30年度末 加東市基金現在高の状況

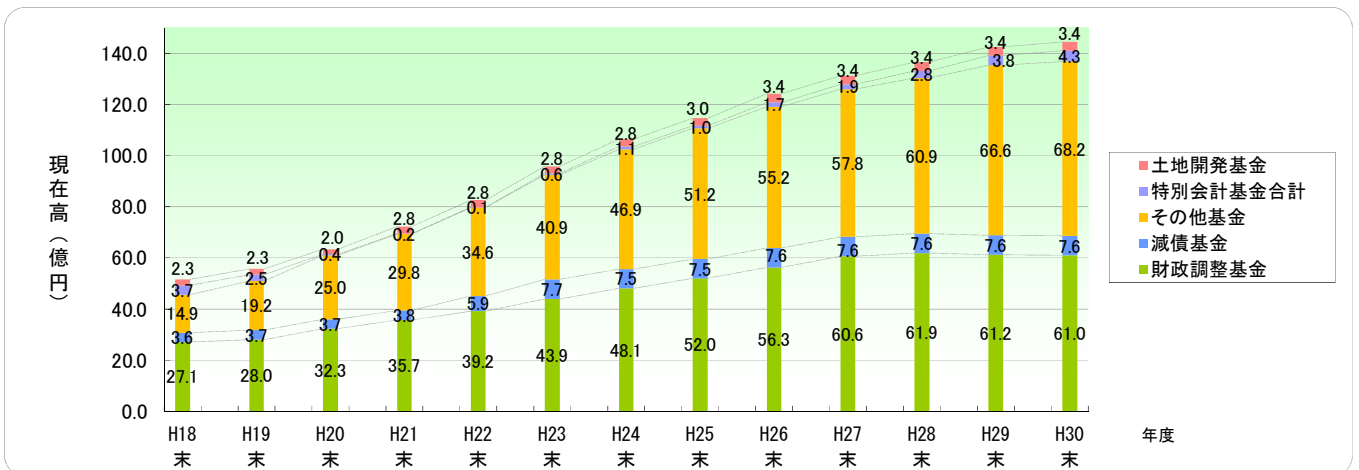
単位：千円

| 基金残高の内訳 | H29年度末 現在高 | H30年度中増減 | | | | H30年度末 現在高 |
|----------------|---------------|----------|---------|--------|---------|---------------|
| | | 剰余金 | 元金 | 利子 | 取崩 | |
| 普通会計（一般会計） | | | | | | |
| 財政調整基金 | 6,124,514 | 210,000 | | 18,760 | 250,000 | 6,103,274 |
| 減債基金 | 762,298 | | | 1,420 | | 763,718 |
| その他特目基金 | 6,656,805 | | 300,000 | 16,340 | 158,509 | 6,814,636 |
| 公共施設整備基金 | 3,037,830 | | 300,000 | 4,177 | | 3,342,007 |
| 国際交流基金 | 88,565 | | | 98 | 2,000 | 86,663 |
| 地域情報化基金 | 371,298 | | | 656 | 146,672 | 225,282 |
| 福祉基金 | 813,594 | | | 2,252 | 2,252 | 813,594 |
| やしろ鴨川の郷基金 | 8,331 | | | 13 | | 8,344 |
| 災害対策基金 | 407,187 | | | 1,559 | | 408,746 |
| 地域振興基金 | 1,930,000 | | | 7,585 | 7,585 | 1,930,000 |
| 普通会計（一般会計）基金合計 | 13,543,617 | 210,000 | 300,000 | 36,520 | 408,509 | 13,681,628 |
| 特別会計 | | | | | | |
| 他会計特目基金 | 376,151 | 59,000 | | | 578 | 435,729 |
| 国保財政調整基金 | 193,136 | 40,000 | | | 329 | 233,465 |
| 介護保険給付費準備基金 | 183,015 | 19,000 | | | 249 | 202,264 |
| 介護従事者処遇改善基金 | | | | | | |
| 全会計基金合計 | 13,919,768 | 269,000 | 300,000 | 37,098 | 408,509 | 14,117,357 |
| 土地開発基金（土地除く） | 336,673 | | | | 600 | 337,273 |
| 土地開発基金を含む総合計 | 14,256,441 | 269,000 | 300,000 | 37,698 | 408,509 | 14,454,630 |

11 加東市基金積立残高の推移

単位：億円

| 基金名 | 年度 | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H18末 | H19末 | H20末 | H21末 | H22末 | H23末 | H24末 | H25末 | H26末 | H27末 | H28末 | H29末 | H30末 |
| 財政調整基金 | 27.1 | 28.0 | 32.3 | 35.7 | 39.2 | 43.9 | 48.1 | 52.0 | 56.3 | 60.6 | 61.9 | 61.2 | 61.0 |
| 減債基金 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.8 | 5.9 | 7.7 | 7.5 | 7.5 | 7.6 | 7.6 | 7.6 | 7.6 | 7.6 |
| その他特目基金 | 14.9 | 19.2 | 25.0 | 29.8 | 34.6 | 40.9 | 46.9 | 51.2 | 55.2 | 57.8 | 60.9 | 66.6 | 68.2 |
| 普通会計合計 | 45.6 | 50.9 | 61.0 | 69.3 | 79.7 | 92.5 | 102.5 | 110.7 | 119.1 | 126.0 | 130.4 | 135.4 | 136.8 |
| 特別会計基金合計 | 3.7 | 2.5 | 0.4 | 0.2 | 0.1 | 0.6 | 1.1 | 1.0 | 1.7 | 1.9 | 2.8 | 3.8 | 4.3 |
| 土地開発基金 | 2.3 | 2.3 | 2.0 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 3.0 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.4 |
| 加東市合計 | 51.6 | 55.7 | 63.4 | 72.3 | 82.6 | 95.9 | 106.4 | 114.7 | 124.2 | 131.3 | 136.6 | 142.6 | 144.5 |
| 前年度との増減比較 | 0.9 | 4.1 | 7.7 | 8.9 | 10.3 | 13.3 | 10.5 | 8.3 | 9.5 | 7.1 | 5.3 | 6.0 | 1.9 |
| 前年度からの増減率（%） | 1.8% | 7.9% | 13.8% | 14.0% | 14.2% | 16.1% | 10.9% | 7.8% | 8.3% | 5.7% | 4.0% | 4.4% | 1.3% |
| 合併時からの積立金増減額 | 0.9 | 5.0 | 12.7 | 21.6 | 31.9 | 45.2 | 55.7 | 64.0 | 73.5 | 80.6 | 85.9 | 91.9 | 93.8 |

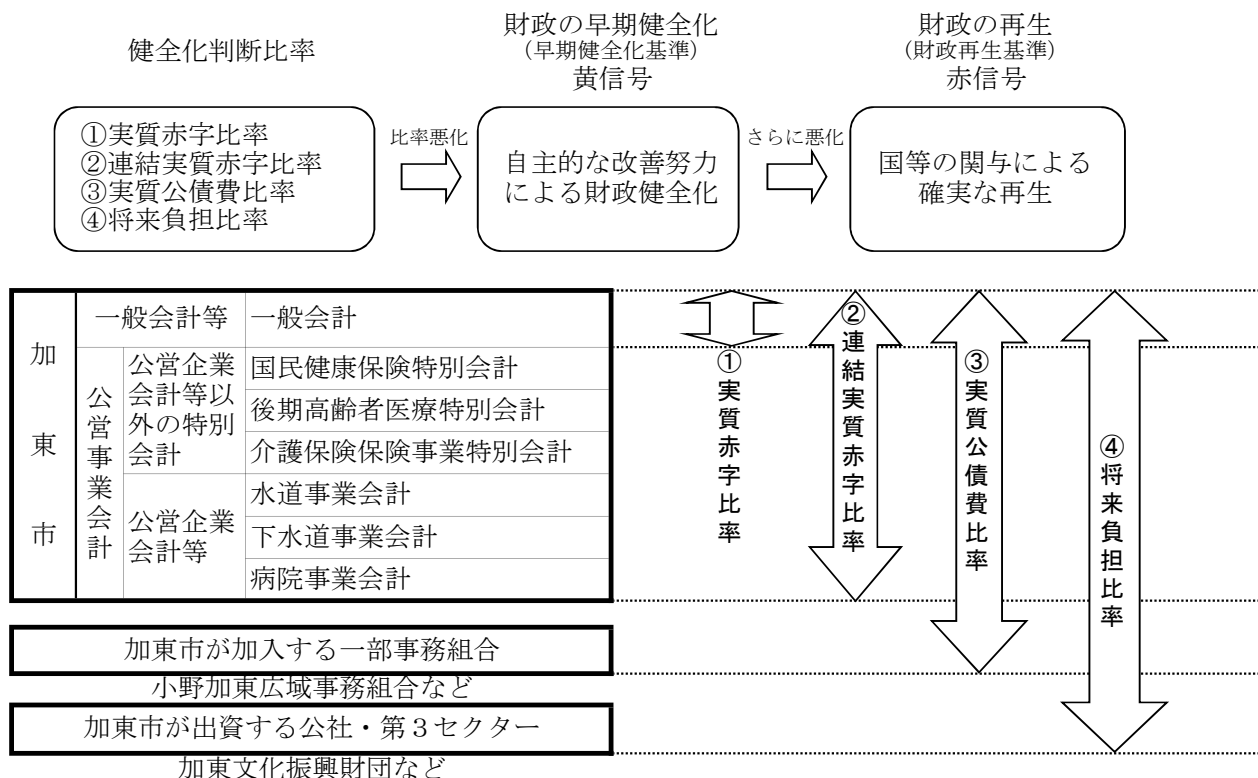


平成30年度 財政健全化判断比率等の概要

□ 健全化判断比率の公表等

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）

○地方公共団体（都道府県、市町村及び特別区）は、毎年度、以下の健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表することが、平成20年度から義務づけられています。



□ 健全化判断比率・資金不足比率

| 健全化判断比率 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 | 加東市 |
|--|---------|--------|-------------|
| ①実質赤字比率 形式的には黒字であっても、翌年度の収入をその年度に繰り上げていたり、その年度に支払うべきものを翌年度に繰り延べしているなどして実質的には赤字の状態を実質赤字といいます。 一般会計等における実質赤字が、財政規模に対してどれくらいの割合になっているかを示す比率です。 | 13.07% | 20.00% | — 算定されない |
| ②連結実質赤字比率 一般会計等のほか、水道事業会計など市の全ての会計を合計した結果、実質赤字が生じている状態が連結実質赤字です。 財政規模に対する連結実質赤字の割合が連結実質赤字比率です。 | 18.07% | 30.00% | — 算定されない |
| ③実質公債費比率 道路建設などの資金として借りた地方債（自治体の借金）を償還するのが公債費です。 一般会計で負担する特別会計の公債費も含めた額が、財政規模に対してどのくらいの割合になっているかを示すのが実質公債費比率で、過去3年間の比率の平均により算出します。 | 25.0% | 35.0% | 4.7% |
| ④将来負担比率 加東市の会計で負担する公債費のほか、一部事務組合や市が出資する第3セクターなどの負債のうち本市が将来的に負担すべき金額から、基金などの貯蓄や歳入の見込まれる財源見込みを差し引いたものが、財政規模に対してどれくらいの割合になっているかを示すのが、将来負担率です。 | 350.0% | | — 算定されない |
| 資金不足比率 | 経営健全化基準 | | 加東市 |
| 当該地方公共団体の公営企業会計ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率です。公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。 | 20.0% | | — 算定されない |